



SUMITOMO MITSUI  
TRUST BANK

## 第1回グリーンリストに関するワーキンググループ

# インパクトファイナンスとインパクト評価 ～Technology Based Financeチームとその取り組み～

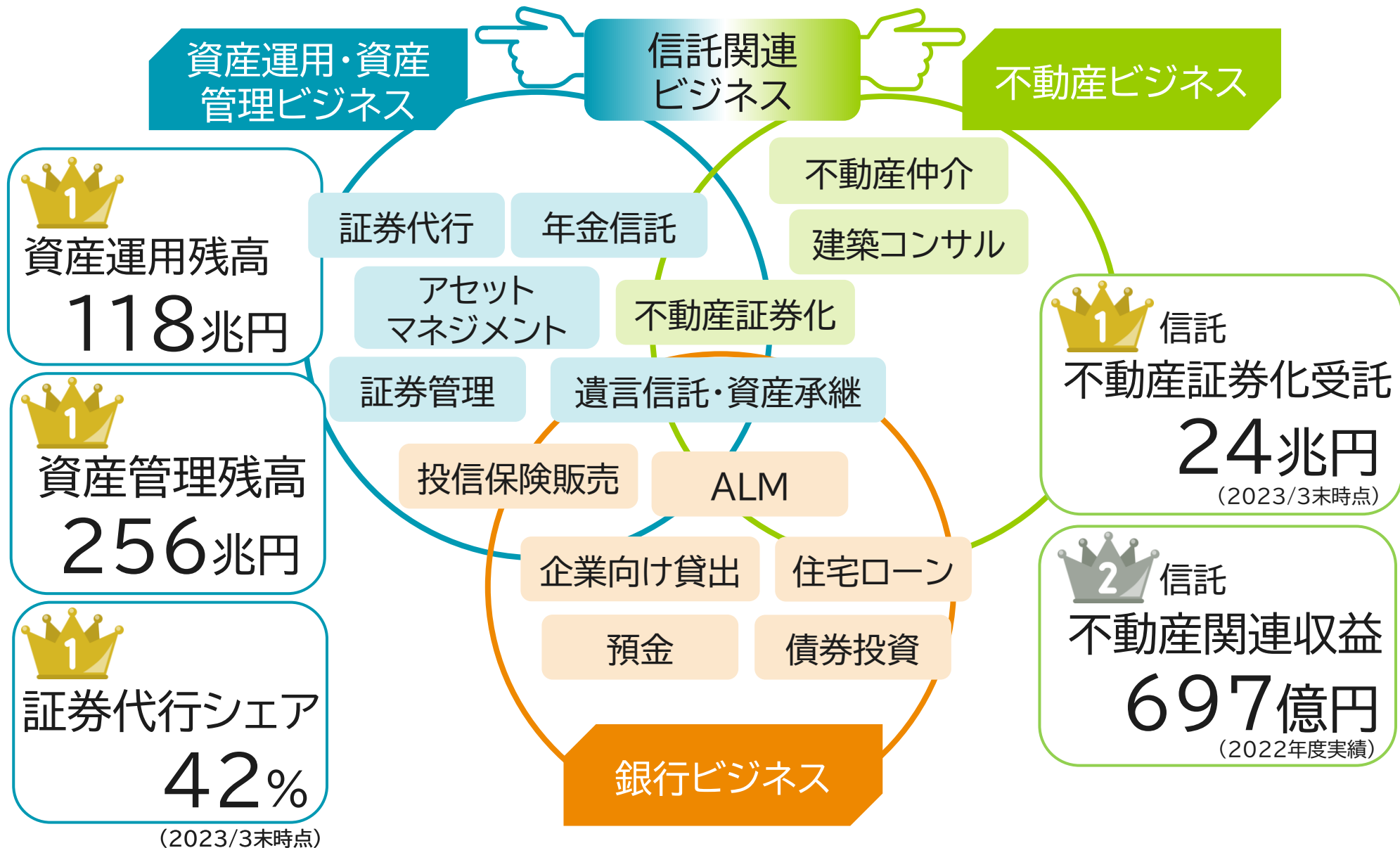


2023年8月8日

三井住友信託銀行

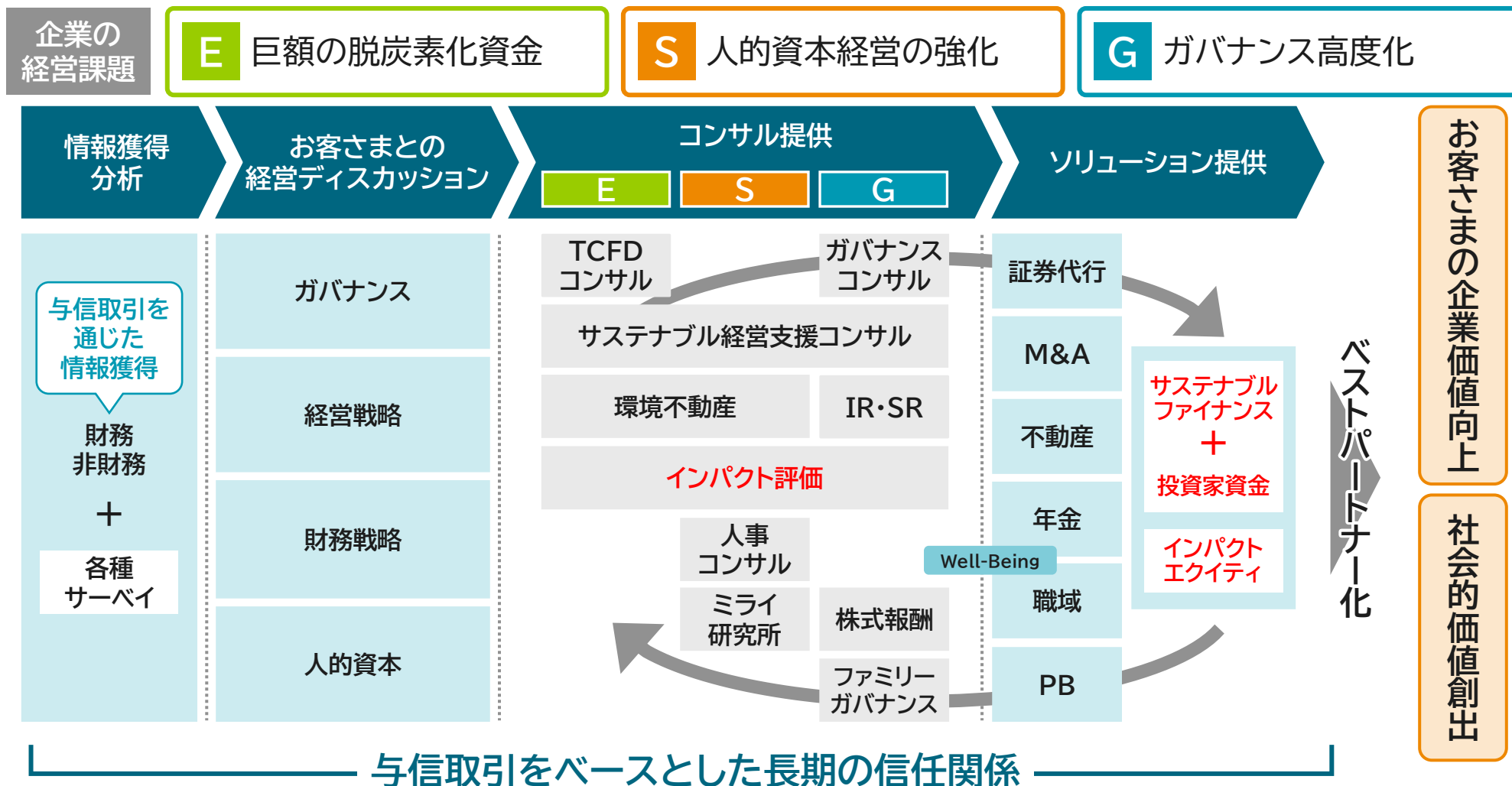
サステナビリティ推進部 Technology Based Financeチーム

# 三井住友トラストホールディングスのビジネスモデル



# 法人事業の成長戦略【サステナビリティ・バリューチェーン戦略】

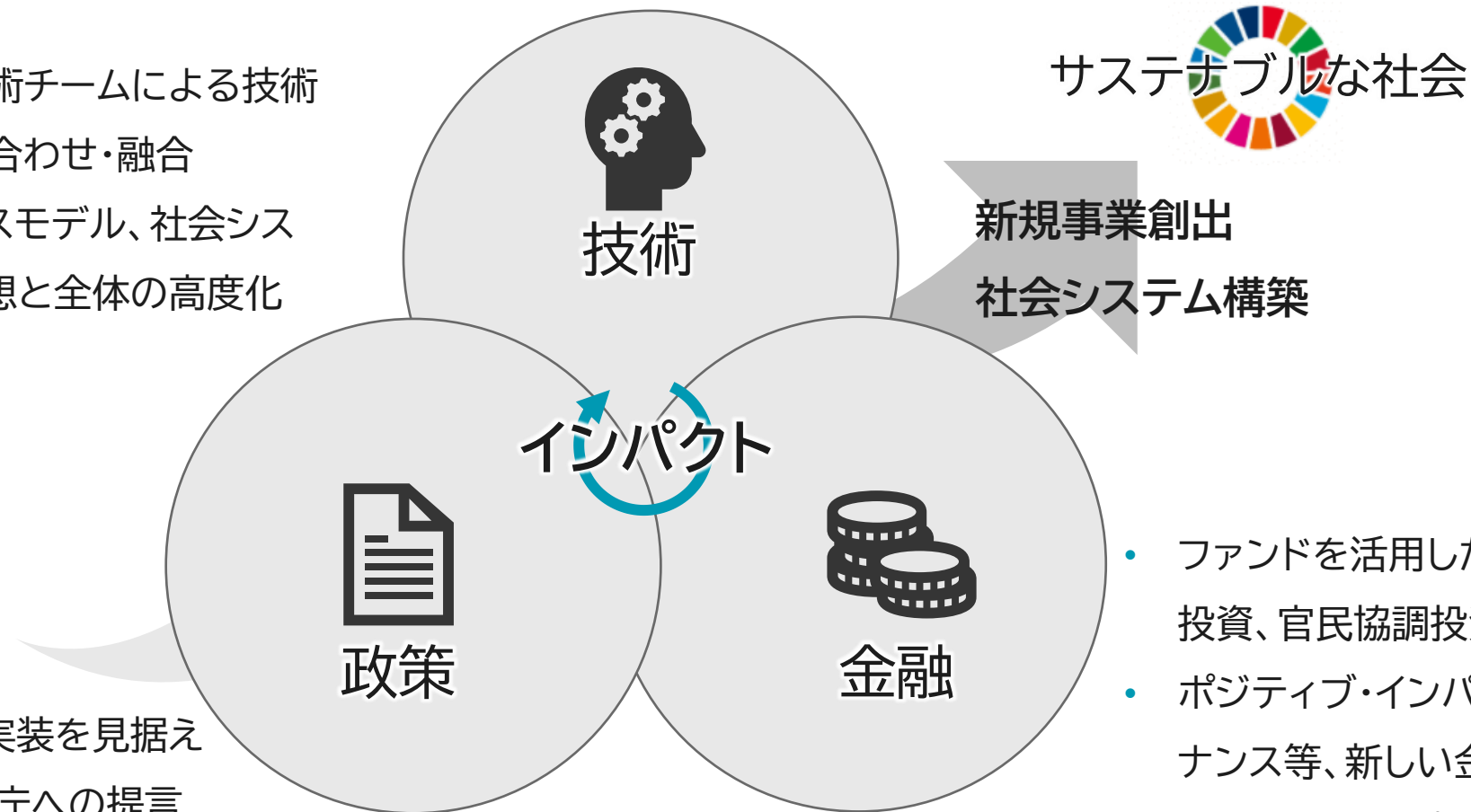
お客さまとの長期の信頼関係に基づき、経営課題の「見える化」からコンサル・ソリューションまで一貫して提供。



# Technology Based Financeチームのビジョン

社会的課題の解決に対して技術の観点からアプローチし、技術、金融、政策を融合させて、志を同じくするパートナーとともに持続可能な社会の実現に貢献する。

- 専門技術チームによる技術の組み合わせ・融合
- ビジネスモデル、社会システム構想と全体の高度化



- ファンドを活用したエクイティ投資、官民協調投資
- ポジティブ・インパクト・ファイナンス等、新しい金融手法を用いた財務サポート

- 実証、実装を見据えた各省庁への提言
- 政策の展開

# Technology Based Financeチームの構成

多様な領域の専門家でチームを構成し、有機的に連携して活動。



修士(工学)

全体統括

【専門】環境マネジメント

- ・ 監査法人にて環境コンサルティング業務に従事



博士(工学)

エネルギー(水素)

【専門】水素・燃料電池、バイオマス

- ・ エネルギー会社でバイオマスや水素・燃料電池関連の研究開発に従事



博士(工学)

エネルギー(電池)

【専門】電池・EV

- ・ 自動車部品メーカーで電池の研究開発、排気システム開発に従事



博士(工学)

材料(無機材料)

【専門】無機材料・合成プロセス

- ・ 総合電機企業で低融点ガラス、無機材料の合成プロセスの研究開発業務に従事



修士(工学)

エネルギー(電力)

【専門】電力・通信システム

- ・ 電力会社で送変電通信設備工事、保守運用に従事
- ・ エネルギー会社向けコンサル経験



博士(工学)

エネルギー(化石燃料)

【専門】環境、石油石炭化学

- ・ 燃料油研究開発、化学合成関連技術展開等に従事
- ・ 中国における事業開発に従事



修士(工学)

材料(有機材料)

【専門】有機材料、衛生

- ・ 電機メーカーで家電向け機能材料開発、水浄化技術開発や除菌技術開発に従事



博士(農業工学)

農林水産(農業)

【専門】農業工学・作物

- ・ 化学メーカーにて、バイオスティミュラントの開発に従事。
- ・ 政府開発援助の農業プロジェクト運営と専門家業務に従事



修士(工学)

メカトロニクス(プラント)

【専門】機械工学・金属材料

- ・ エネルギー会社で製造プラントの新設・改造・保守業務、再エネ供給プロジェクトの企画業務等に従事



修士(工学)

メカトロニクス(機械系基盤)

【専門】機械工学・精密

- ・ 総合電機企業で光応用製品、医用機器、半導体検査装置関連技術の研究開発業務等に従事



修士(工学)/技術士

建設・土木

【専門】都市・交通/デジタル

- ・ 建設コンサル等にて国内外の都市・交通事業に従事したのち、通信会社でスマートシティ、ビッグデータ活用を推進



修士(地球環境学)

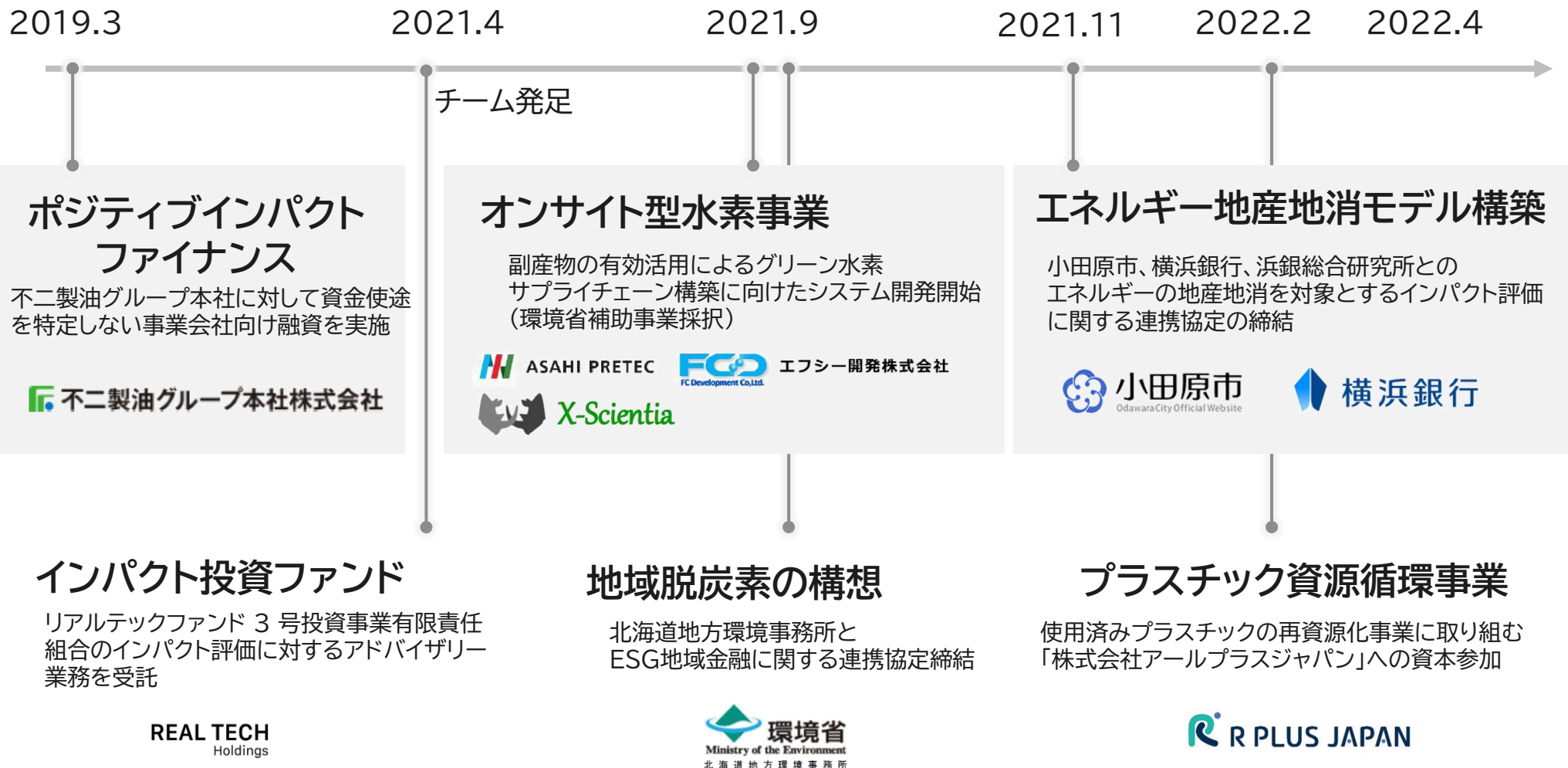
環境・産業政策

【専門】環境・産業政策

- ・ シンクタンクにて気候変動対策や関連政策の実現に向けた投融資拡大に関する制度設計等に関与

# TBFチームの変遷と取り組み事例

インパクトファイナンス、インパクト投資を始め、地域創生、脱炭素、資源循環をテーマとしたプロジェクトにおいてインパクト評価を活用



# インパクト評価に取り組む理由

持続可能な社会の実現を目指す過程において、金融で主流化する“インパクト評価”を、多様なステークホルダー間のビジョンの共有や創出したい価値の議論に活用したい。

## ① SDGs: 解決すべき環境、社会、経済の課題

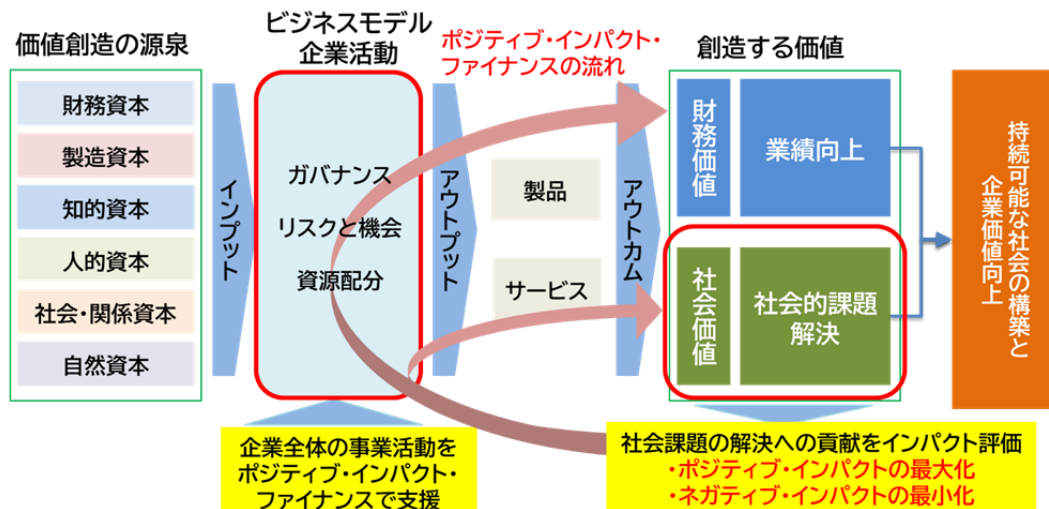


- 2030年までに解決を目指す世界共通の課題
- プラスチック問題も重要課題の一つ

## ② インパクト評価の活用

- インパクト＝環境、社会、経済(SDGsの3つの側面)に及ぼす影響
- インパクト評価を判断基準に、SDGsに貢献する技術の社会実装を金融面で支援(金融の価値観のイノベーション)
- インパクト評価を目指す社会の構想や行動変容を促進する議論の場に提供

## ③ インパクトファイナンスによる社会的価値と企業価値の創出



企業全体の事業活動を  
ポジティブ・インパクト・  
ファイナンスで支援

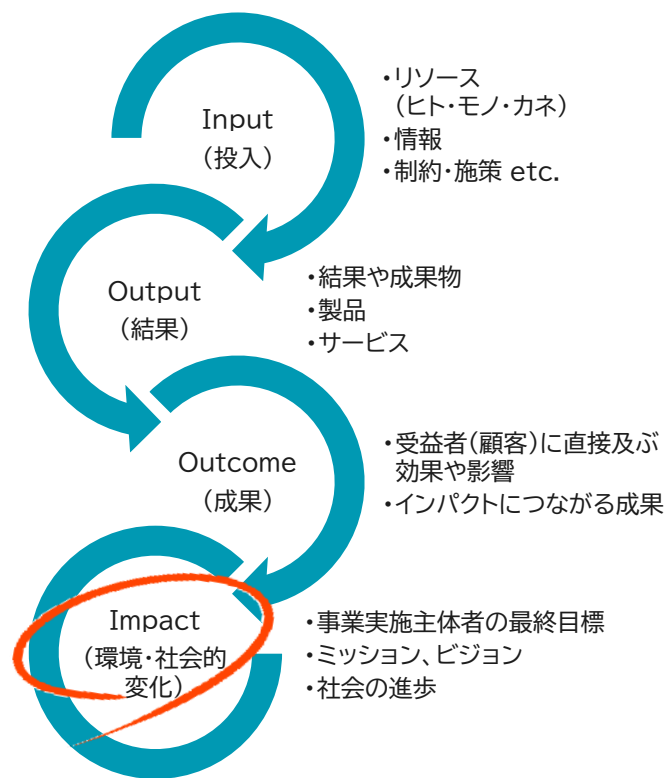
社会課題の解決への貢献をインパクト評価  
・ポジティブ・インパクトの最大化  
・ネガティブ・インパクトの最小化

## ④ 大学・企業と投資家・金融機関をつなぐ基本的構造



# インパクトとは

組織によって引き起こされるポジティブまたはネガティブな環境、社会または経済に対する変化のことをいい、直接的な成果物や結果(アウトプット)ではなく、それにより環境、社会または経済面にどのような違いを生み出したかという効果(アウトカム)を指す

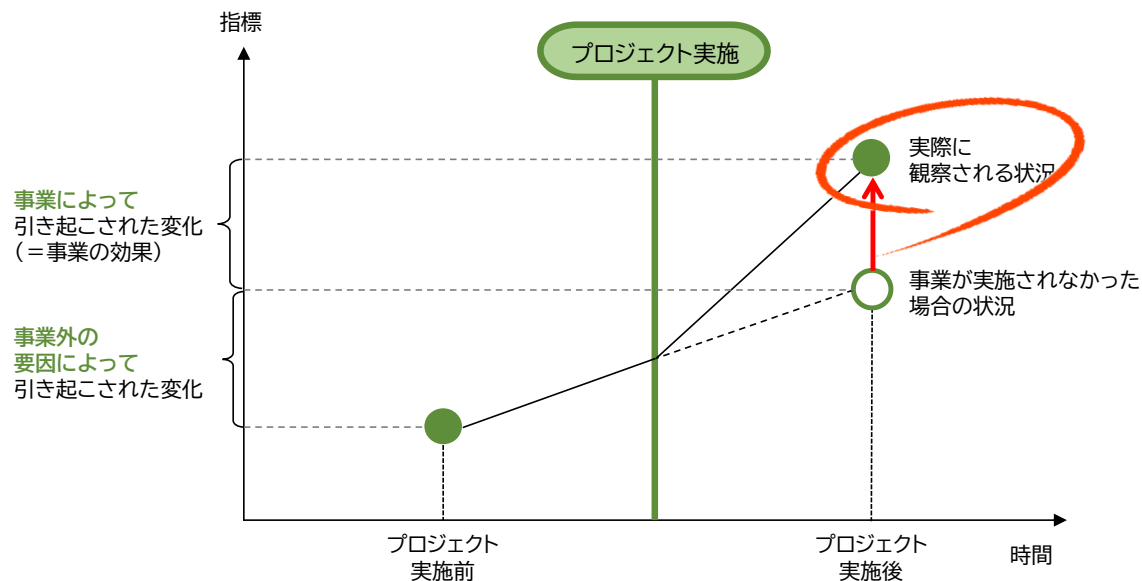


## ■ 定義

アウトプット : 企業の製品・サービスあるいは活動の結果

アウトカム : 企業の製品・サービスあるいは活動がステークホルダーに直接及ぼす影響

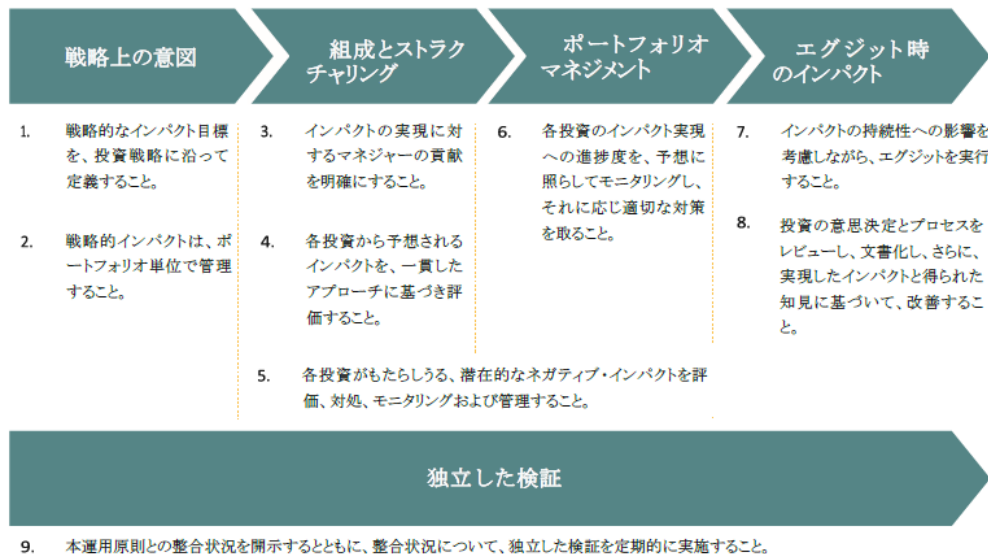
インパクト : 企業の製品・サービスあるいは活動が短期・中期・長期にわたって社会・環境・経済に及ぼす影響。方向(ポジティブあるいはネガティブ)と大きさ(変化量)を持つ





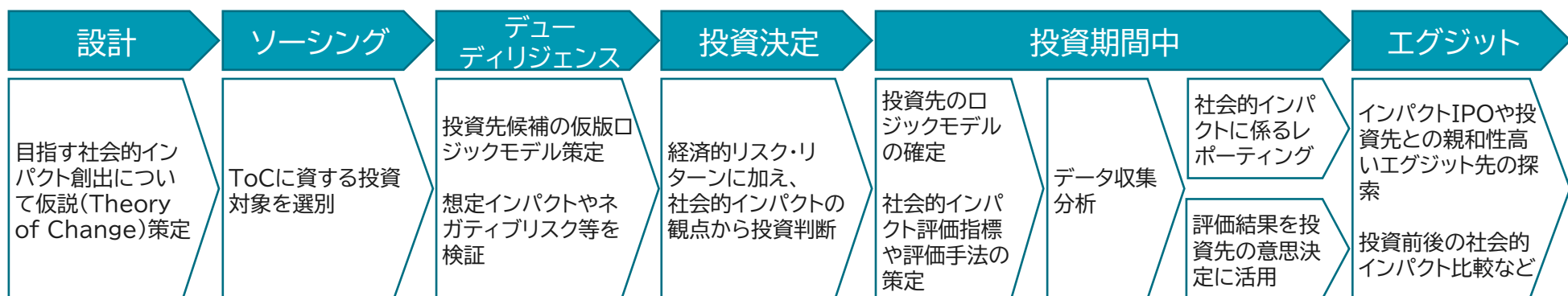
# インパクト測定・マネジメント(IMM)とは

- IFC ※1が立ち上げた「インパクト投資の運用原則」は、投資プロセスを9つの原則で定義
- その中核をなす**インパクト測定・マネジメント(IMM: Impact Measurement & Management ※2)**について、一般的に下図のようなプロセスが行われている



(出所)IFC インパクト投資の運用原則(日本語訳)

## ■IMMの運営イメージ

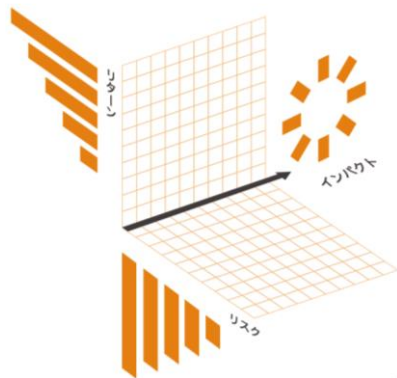


※1: 国際金融公社(International Finance Corporation)

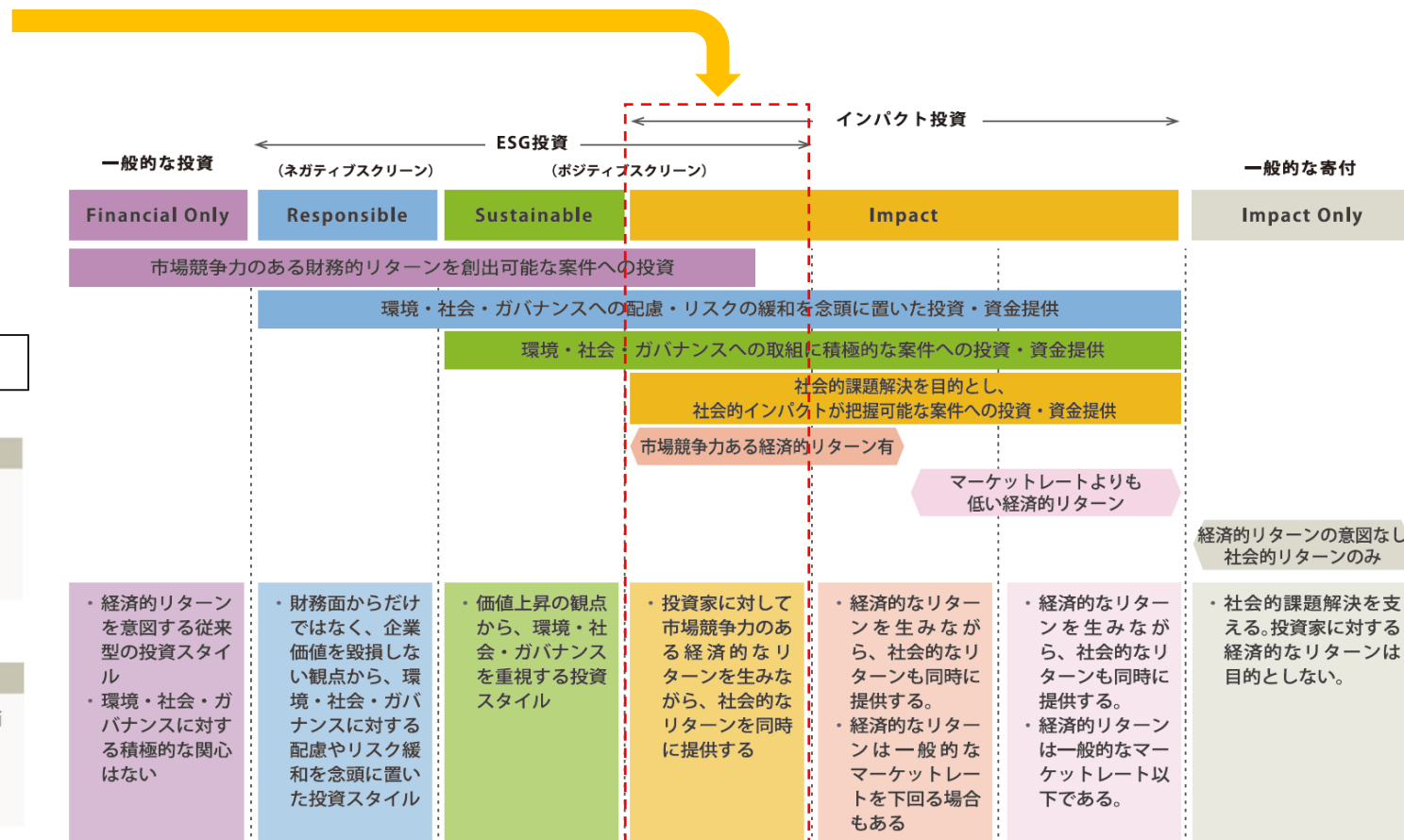
※2: 投融資先が創出するインパクトの測定と対話・エンゲージメントを通じて、ポジティブインパクトの拡大及びネガティブインパクトの抑制を目指す運営手段

# インパクト投資とは

金銭的なリターンと並行して、ポジティブで測定可能な社会的・環境的インパクトを生み出す投資



投資判断の軸として従来の「リスク」および「リターン」に加え、「インパクト」という第三の判断軸を用いる



## インパクト投資の構成要素

- ✓ 意図があること (Intentionality)
- ✓ 財務的リターンを目指すこと (Financial Returns)
- ✓ 広範なアセットクラスを含むこと (Range of asset classes)
- ✓ 社会的インパクト評価を行うこと (Impact Measurement)

(出所)いずれの図も「インパクト投資拡大に向けた提言書2019」(GSG国内諮問委員会)をもとに弊社にて一部加工  
<https://impactinvestment.jp/news/research/20200420.html>

# ポジティブ・インパクト・ファイナンスの概要

## 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の特徴

### Point ① 資金使途

- 資金使途は限定されない  
→ 企業活動全体を評価しての貸付

### Point ② 国際基準の評価

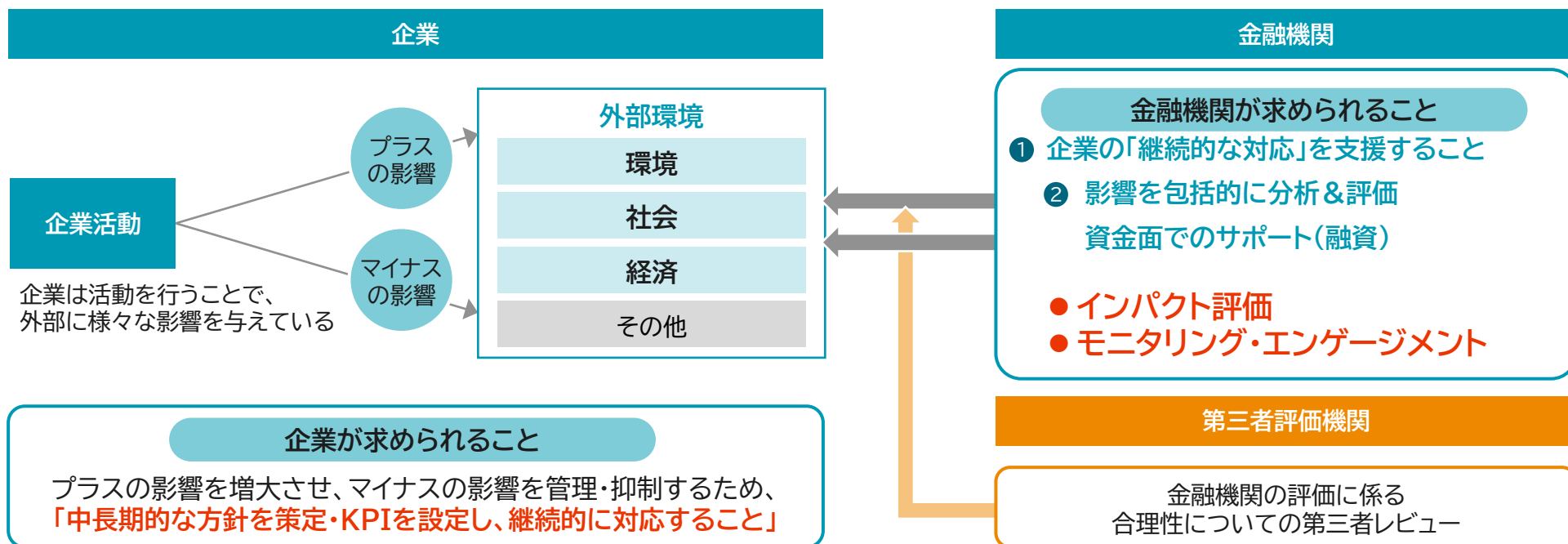
- 国際基準に則した評価手法の適用
- 貴社のSDGsへの貢献を評価

### Point ③ 透明性の確保

- 第三者レビューにより透明性を担保

企業のサステナビリティ活動全般を、公表データを中心に金融機関が分析・評価した上で、融資を実施

## 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」のフレームワーク



〔留意事項〕

- 本資料は、情報の提供を目的として作成したものであり、取引勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料は、作成日において弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成したものであり、その情報の正確性・確実性について保証するものではありません。また、今後の金融情勢・社会情勢等の変化により、内容が変更となる場合がございます。
- 本資料を使用した結果について、弊社は責任を負いません。
- 本資料には、一定の前提に基づく概算数値が含まれる場合がございます。実際の適用に際しては正式な計算を行う必要があり、その場合の結果は差異が生じる可能性がありますのでご注意ください。
- 本資料に係る一切の権利は、他社資料の引用部分を除いて三井住友信託銀行に属し、いかなる目的であれ本資料の一部または全部の無断での使用・複製はお断りいたします。
- 本資料の内容に関して疑問に思われる点、ご不明な点等ございましたら、弊社にご照会くださいますようお願い申し上げます。



---

サステナビリティ推進部

---

〒100-8233 東京都千代田区丸の内1-4-1

---

代表メールアドレス：csr@smth.jp

---